

貸 借 対 照 表
(2019年3月31日現在)

株式会社さわやか倶楽部

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	9,404,620	【 流 動 負 債 】	3,967,296
現金及び預金	5,631,506	1年内償還予定の社債	60,000
売掛金	2,012,407	短期借入金	201,000
商品	436	1年内返済予定の長期借入金	1,206,024
販売用不動産	1,097,466	未払金	823,511
前払費用	475,214	未払費用	445,112
その他	193,543	未払法人税等	337,390
貸倒引当金	△ 5,954	前受金	225,114
【 固 定 資 産 】	7,435,707	預り金	442,134
(有 形 固 定 資 産)	4,243,770	賞与引当金	227,009
建物	2,673,369	【 固 定 負 債 】	4,998,229
構築物	68,189	社債	240,000
機械装置	40,015	長期借入金	3,558,107
車両運搬具	8,705	関係会社長期借入金	600,000
工具、器具及び備品	167,414	長期未払金	131,339
土地	1,273,677	繰延税金負債	377,970
建設仮勘定	12,398	その他	90,812
(無 形 固 定 資 産)	43,626	負 債 合 計	8,965,526
ソフトウェア	41,746	純 資 産 の 部	
その他	1,880	【 株 主 資 本 】	7,969,073
(投 資 そ の 他 の 資 産)	3,148,309	資本金	200,800
投資有価証券	1,008,493	資本剰余金	31,415
関係会社株式	12,465	資本準備金	31,415
出資金	360	利益剰余金	7,736,858
長期貸付金	92,700	利益準備金	18,784
関係会社長期貸付金	6,500	その他利益剰余金	7,718,073
従業員長期貸付金	15,150	固定資産圧縮積立金	248,054
長期前払費用	142,816	繰越利益剰余金	7,470,019
敷金及び保証金	1,315,408	(うち当期純利益)	(810,377)
保険積立金	554,129	【 評 価 ・ 換 算 差 額 等 】	△ 94,272
その他	284	その他有価証券評価差額金	△ 94,272
資 産 合 計	16,840,327	純 資 産 合 計	7,874,801
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	16,840,327

個別注記表

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①子会社株式及び関連会社株式・・・移動平均法による原価法

②その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・・・・・・・・最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

販売用不動産・・・個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産（リース資産は除く）

定率法を採用しております。

ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した構築物につきましては定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 6年～47年

構築物 3年～50年

工具、器具及び備品 3年～10年

(2) 無形固定資産（リース資産は除く）

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づき定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。なお、固定資産に係る控除対象外消費税等は、長期前払費用に計上し、5年間で均等償却を行っております。